

政策研究大学院大学 学長選考の基準について

I 学長に求められる資質・能力

【政策研究大学院大学 求められる学長像】による。

II 選考の手続・方法等

1. 一次候補者の決定

学長選考会議（2022年4月1日以降「学長選考・監察会議」）委員による一次候補者の推薦に基づき、学長選考会議が一次候補者を決定する。

2. 一次候補者による所信表明の聴取及び質疑応答

学長選考会議に一次候補者を招へいし、所信表明の聴取及び質疑応答を行う。

3. 最終候補者の決定

最終候補者の決定は、学長選考会議が行う。

4. 選考結果の公表

最終候補者が決定した際は、選考結果（選考理由及び選考の過程）を大学ホームページにより公表する。

政策研究大学院大学 求められる学長像

本学創立の趣旨に即し、政策及び政策の革新にかかわる研究と教育を通して、我が国及び世界の民主的統治の発展と高度化に貢献するため、政策研究大学院大学長には、以下のような資質・能力が求められる。

- 一、 人格・識見に優れ、かつ、大学における研究・教育活動を適切かつ効果的に運営することができること。
- 二、 現実課題に立脚した学際的な政策研究と世界各国の指導的人材の養成を行う卓越した研究教育拠点の長として、明確なビジョンのもと、学内外の意見を求め、強いリーダーシップを発揮して、戦略的な大学経営ができること。
- 三、 グローバルな視野を持ち、国内外の大学・研究機関、政府機関及び国際機関等との協力・協働の関係を構築し、発展させるとともに、自らが対外的な発信に積極的に取り組むことで、本学の評価の向上に寄与することができること。